

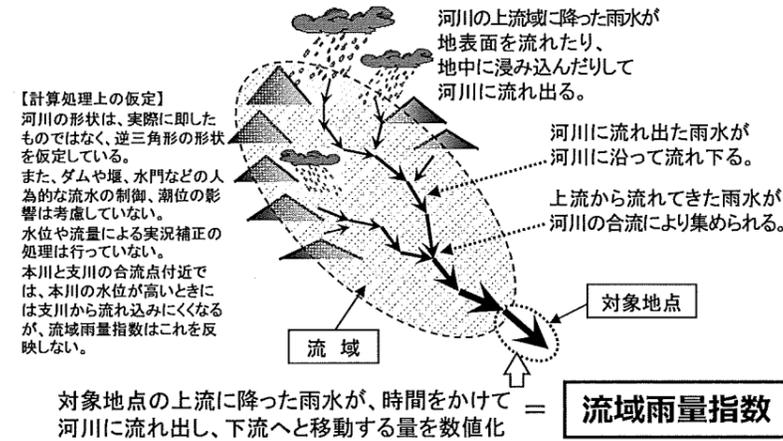
大雨警報（浸水害）の危険度分布（色分け表示された危険度の意味）

色が持つ意味	住民等の行動の例 ^{※1}	想定される周囲の状況例
極めて危険 警報基準に到達するに到達		《表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達、すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。》
非常に危険 警報基準の一段上の基準に到達すると予想	周囲の状況を確認し、各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。	道路が一面冠水し、倒溝やマンホールの場所が分からなくなるおそれがある。道路冠水等のために鉄道やバスなどの交通機関の運行に影響が出るおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
警戒 ^{※2} 警報基準に到達すると予想	安全確保行動をとる準備をして、早めの行動を心がける。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	倒溝や下水が溢れ、道路が一面冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
注意 （注意警報） 注意基準に到達すると予想	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、道路のアンダーパスには各自の判断で近づかない。住宅の地下室からは各自の判断で地上に移動する。	周囲より低い場所です倒溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。住宅の地下室や道路のアンダーパスに水が流れ込むおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況、雨のときは、雨水が周囲より低い場所に集まる。

※1 大雨警報（浸水害）の危険度分布に関わらず、自治体から避難勧告等が発令された場合や下水道管理者から氾濫危険情報等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。
※2 自治体から避難準備・高齢者等避難開始が発令される状況です。

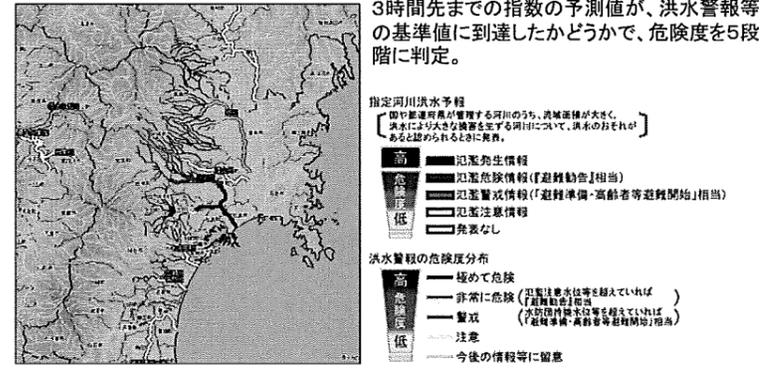
流域雨量指数の概要

○流河川の上流域に降った雨水が、地表面や地中を通して河川に流れ出し、河川に沿って流れ下る量を数値化したもの



洪水警報の危険度分布

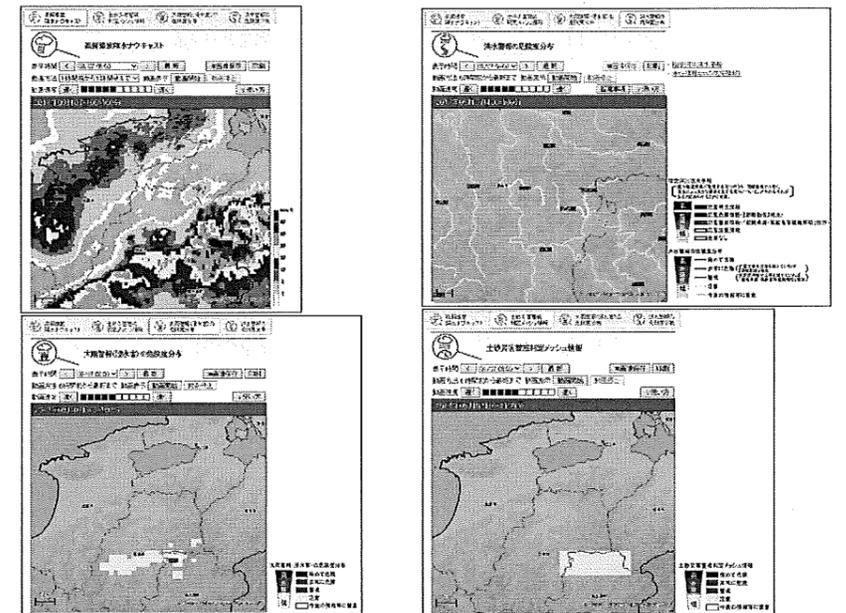
中小河川の外水氾濫、及び、河川周辺の内水氾濫による浸水害発生危険度の高まりを表す。



洪水警報の危険度分布（色分け表示された危険度の意味）

色が持つ意味	危険度分布の色分け基準	住民等の行動の例
極めて危険 警報基準に到達するに到達	【表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達、すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。】	
非常に危険 警報基準の一段上の基準に到達すると予想	【表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達、すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。】	
警戒 （警戒警報） 警戒基準に到達すると予想	【表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達、すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。】	
注意 （注意警報） 注意基準に到達すると予想	【表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達、すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。】	
今後の情報等に留意	【表面雨量指数の実況値が過去の重大な浸水害発生時に匹敵する値にすでに到達、すでに重大な浸水害が発生しているおそれが高い極めて危険な状況。】	

気象庁ホームページにおける表示イメージ



防災気象情報活用上の留意点

防災気象情報活用上の留意点（1）

- ◆ 警報や注意報が発表
→ 警戒期間や注意期間を確認してください。
警報や注意報は、防災対応の時間を確保できるよう、警戒期間及び注意期間に入る3～6時間前に発表するようにしています。
- ◆ 警報・注意報・気象情報は常に最新のものを利用してください。
- ◆ 大雨警報、洪水警報や土砂災害警戒情報の発表
→ メッシュ情報、危険度分布を確認してください。
- ◆ 土砂災害は、雨がやんでから発生する場合があります。
大雨警報（土砂災害）や土砂災害警戒情報は雨がやんでもすぐには解除しません。

防災気象情報活用上の留意点（2）

- ◆ 1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が数時間続くと、災害が発生する可能性が極めて高くなります。
土砂災害、河川の急な増水・氾濫、アンダーパスや地下空間の水没など
- ◆ 大雨が降り続いて一旦小康状態になった後に非常に激しい雨が降ると、土砂災害の危険度が一段と高くなります。
- ◆ 記録的短時間大雨情報が発表された場合、すでに、その地域周辺では何らかの災害が発生している可能性があります。
この情報が川の上流の地域に発表された場合、川は一気に増水します。

気象災害から身を守るために

「まだ大丈夫」「自分は大丈夫」「これまでも大丈夫だった」など自分に都合よく考える傾向を「**正常化の偏見**」といいます。自然を甘く見ることなく、最悪の事態を想定した行動をお願いします。

プロアクティブの原則(積極的対応)

1. 疑わしいときは行動せよ
2. 最悪事態を想定して行動せよ
正常化の偏見に陥って、希望的観測をしてはいけない
3. 空ぶりは許されるが見逃しはゆるさない
空振り覚悟で積極的に対応すべき

結果的に、空振りに終わっても...

ああ、たいしたことなくてよかった!



ご静聴ありがとうございました。

気象状況	気象庁の情報	市町村の対応	住民の行動等	Point
大雨の数日~約1日前 大雨の可能性が高くなる	警報級の可能性 大雨注意報	心構えを一段高める 職員の出発体制を確認 今後の気象状況に注意	気象情報やハザードマップを確認 心構えを一段高める 土砂災害警戒区域等の危険箇所を把握 避難場所や避難ルートを確認	備えは大丈夫?
大雨の半日~数時間前 雨が降り始める	大雨の半日~数時間前 雨が降り始める	災害準備体制 (避難所を把握、防災用品を確認)	最新の情報を把握して、災害に備えた早めの準備を 発表中の注意報に、夜間に大雨警報発表の可能性が高いと記載されている場合は、土砂災害警戒区域等にお住まいの方には、早めの避難	
大雨の数時間~2時間程度前 大雨となる	大雨警報(土砂災害)	避難準備・高齢者等避難開始 (避難中の注意報に、避難に要する準備の必要性が高いと記載されている場合)	土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、地元市町村からの避難情報に留意するとともに「土砂災害警戒特定メッセージ」を確認し、速やかに避難	Point 土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、早めの行動を!
大雨が一層激しくなる	大雨特別警報(土砂災害)	土砂災害発生時の危険度が著しく高まっているメッセージ内の土砂災害警戒区域等に避難指示 災害対策本部設置 最大危険度のメッセージ内の土砂災害警戒区域等に避難指示(緊急)	大雨警報や土砂災害警戒情報の発表への対応が指示されるメッセージでは、土砂災害警戒区域等の危険箇所を把握し、避難指示(緊急)等の対象区域を再度確認	
広い範囲で数十年に一度の大雨		記録的短時間大雨情報 特別警報の住民への周知 メッセージ情報を確認し、避難指示(緊急)等の対象区域を再度確認	数十年に一度の大雨に備え、これまで経験したことのないような異常事態に、速ちに地元市町村の避難情報に従うなど適切な行動を!	